

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2016年3月1日 150号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



人と自然が共生する福地村の建設を目指して

一九九九年十月、南米パラグアイ共和国の北部に位置するチャコ地方において、南北米福地開発協会による本格的な開拓プロジェクトが始動しました。パラグアイは国家自体が、経済的に困窮しておりましたが、特に、アルト・パラグアイ州のレダ基地周辺のインディヘナ（先住民）の村々は、仕事がなく、経済的に貧しい故の栄養不足、また、未来を担う子供と若者たちへの教材不足や学校の施設の不備など、教育にも多くの困難を抱えていました。昔から今の習慣や社会的生活には、良い面もありましたが、生存環境が過度に未整備だったのです。

南北米福地開発協会では、スタッフが親しく現地に赴き、首都アスンシオンから北に八百キロも離れた辺境地に入植し、地域住民たちと力を合わせて、生活環境の改善と教育支援をしてきました。

今号では、新年の方針発表でも触れた、レダ基地総合開発のマスター・プランを紹介します。これは理想的福地村建設を目指す者たちと、その支援者たちによって、描き出される希望の福地村です。特に、文鮮明先生が光の当たらなかつたインディヘナの村々と住民たちに対して、希望となる村づくりのビジョンを提示したものともなっています。

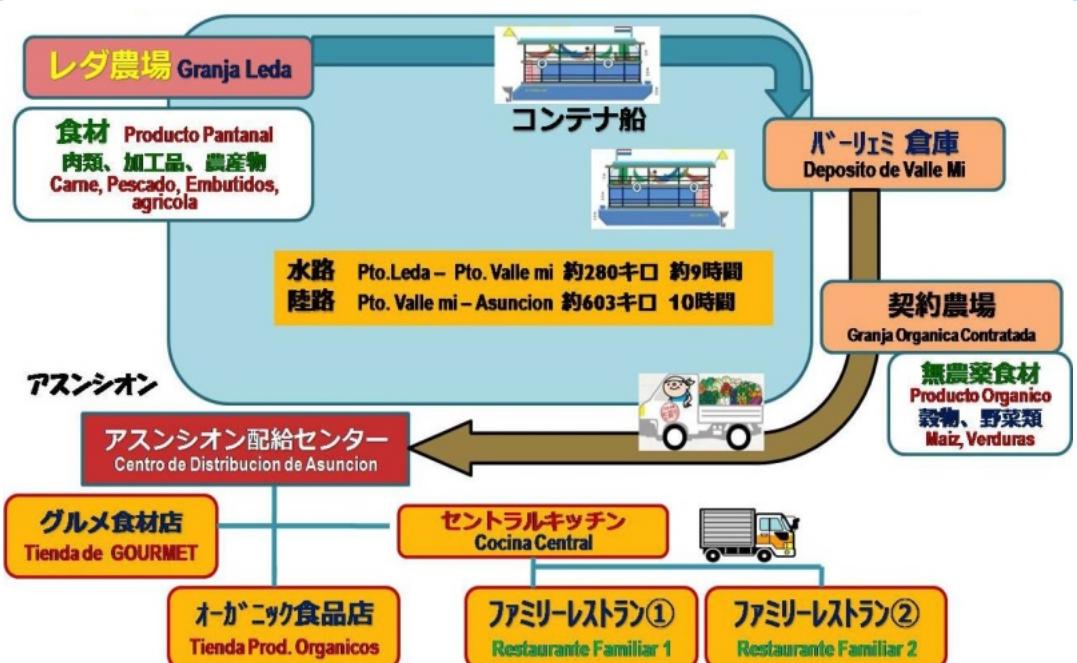
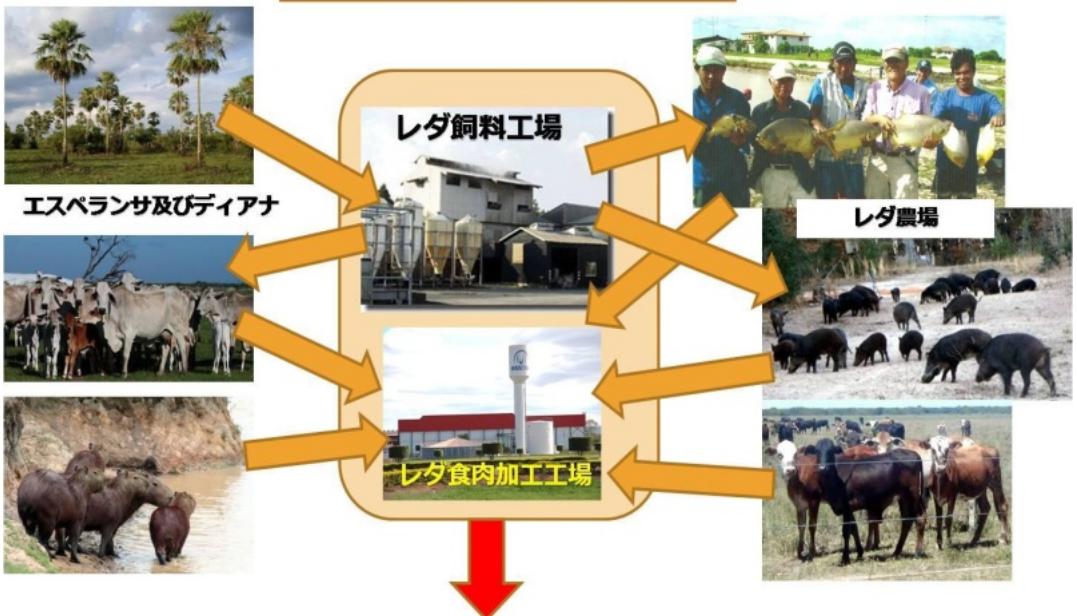
このチャコ地域は、基本的な生活のインフラが極度に不備です。電力はデイアナ村を除き、各家庭には微小な電力がごく短時間だけ届くか、全くありません。また、浄水施設や上下水道の設備がありません。バイア・ネグラ市には貧弱ながらも小さな医療設備がありますが、他は無医村です。緊急時は、小舟で数時間かけ、オリンポ市やバイア・ネグラ市に患者を輸送しています。（二面に続く）

(一面より続く) 人々の切実な願いは、病院が欲しい、子供たちの教育施設がほしい、また働くところが欲しいというものでした。

レダ基地は、上流のバイアネグラ市と、下流のオリンポ市との中間に位置し、入植当初より交通、通信、治安、救急など、ライフラインの空白地帯を埋めるという役割を担つて来ました。さらに社会的な実績を積み重ねた今日、モデル的福地村の建設は、大変に期待されています。



流通システム



マスター・プランは、中央にモデル的福地村の行政施設、医療施設、学校等教育施設、文化施設等を配し、周辺に緑豊かな自然保護と観察のエコツーリズムの場を設定し、パンタナールの特徴を生かした自然公園が広がります。また、地域の人々が働くことのできる場として、養殖や牧畜をはじめ、幅広く地場産業を推進する施設が創られ、パラグアイ川沿岸地域はもとより、広く周辺地域の住民たちにとつて、

生活の質の向上に資するものとなります。二〇一三年、パラグアイ川の代表的な魚であるパクーの稚魚放流にあたり、現職大統領、中央政府と自治体の指導者、大学の研究者、地域住民を迎えて、盛大に稚魚放流式典が行われました。そして、毎年の繁殖期ごとに継続して行つた稚魚放流の効果により、パラグアイ川の魚資源が顕著に増加するようになりました。養殖技術の普及もまた期待されています。(戸石記)

新年会に参加できなかつたメンバーからの要望を受け、二月一日の夜に「第2回 ASD青年集会」が開かれました。平日でしたが七名が集まり、さまざまな話題で盛り上りました。プログラムは前回とほぼ同じで、まずお弁当を食

【第2回 ASD青年集会】



カピバラの世話をする青木氏。



リンゴガイ(ジャンボタニシ)



パクーの養殖池で、成長の度合いを調べる作業。



タロイモ水田の除草作業。リンゴガイ(左写真)も採る。

レダを体験した青年は、今！ (第5回)

世界に貢献できる仕事がしたい！



土佐嘉孝さん 第15回国際協力青年奉仕隊員 立教大学観光学部3年生 (パラグアイ川で釣ったピラニアを手に)

Q. レダに行って感動したことは？

A. とにかく自然がきれい！「本来の自然が残っている」ということが印象的でした。観光を学ぶ立場で5カ国を見てきましたが、文句なしでNo.1でした。また、レダ開拓の歴史を深く知っていく中で、たくさんの思いが込められた聖地であると感じました。

Q. パラグアイの人たちと触れ合い、感じたことは？

A. パラグアイの人たちは、本当に陽気で、明るくて親しみやすかったです。今まで行った外国でも現地の学生と交流する機会がありましたが、いま一歩盛り上がらないところがありました。ところが、パラグアイの人はいろいろ興味を持って、言葉も分からぬのに話しかけてきたり、人なつっこいところがありました。アキタバン(船)に乗った時、僕らの部屋に子供たちがひっきりなしに入ってくるので、簡単な手遊びを教えて一緒に遊んだりすることもありました。

Q. レダでの体験を通して、新たに決意する内容がありましたか？

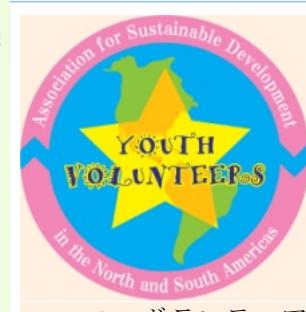
A. 学校を休学し、半年レダに行って来ることに決めました。将来一級の観光地になるレダに行って、奉仕と共に観光資源の調査なども行い、レダ観光をテーマに卒業論文を書きたいと思います。卒業後は旅行会社で経験を積み、将来的にはレダ・プロジェクトを含め、世界に貢献できる仕事がしたいと思います。



第2回 ASD青年集会 (2月1日)

手集めや青年奉仕隊に参加してくれたメンバーにプレゼントする、ユース・ボランティアのマーク入りグッズを作成するにあたり、どのようなものにするか?「うなづき」ということでした。事前に事務局側でホルダーなどは、バッヂやキーサー

べながら自己紹介と近況報告を行い、次に提唱者のメッセージを音読しその感想を共有しました。最後に今年の方針とスケジュールを発表し、プロジェクト企画の時間を設けました。今回の集会で中心的な議題になつたのは「切



ユース・ボランティアのマーク

イズ別のサンプルを取り寄せていました。ところが、議論は大いに盛り上がり、熟議の果てにクリアファイルにすることになりました。この特製クリアファイルは、今年の春休みから切手・ハガキ集めのボランティアに参加する学生に贈呈されます。

また、今回の青年集会の参加者で、先立つて協力してくれたメンバーには、マーク入りのカードをプレゼントしました。ユース・ボランティアのマークをベースに、それぞれの個性に合わせてデザインしたマーク入りのカードには、レダ・プロジェクトとそれを受け継ぐ者たちへの夢と願いが込められています。(島田記)

第10回パンタナール1Dayセミナーご案内



春爛漫、桜の下で開催された第7回一日研修会。
次回もこの会場で開催します。

● 初めて参加しましたが、思いが適つた一日でした。苛酷な地を、よくぞここまでなされたと感服いたしました。
(男性・64歳)

● とても深い内容があり、先駆者達の苦労があったという事を知ることができました。青年の坂井さんの話はとて

● 参加を希望される方は、三月二九日までに、別紙の応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスかメールで下記の当法人事務局でお送りください。

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
共催 NPO地球の緑を守る会
講師 高津啓洋 NPO代表

● 「レダ開拓と福地建設の歩み」
講師 柴沼邦彦 当法人理事
「地球環境問題救済の道」

● プログラム(予定)



● 初めて参加しましたが、思いが適つた一日でした。苛酷な地を、よくぞここまでなされたと感服いたしました。
(男性・64歳)

● とても深い内容があり、先駆者達の苦労があったという事を知ることができました。青年の坂井さんの話はとて

● 初めて参加しましたが、思いが適つた一日でした。苛酷な地を、よくぞここまでなされたと感服いたしました。
(男性・64歳)

● とても深い内容があり、先駆者達の苦労があったという事を知ることができました。青年の坂井さんの話はとて

一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821
FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行 (旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com
ホームページ: <http://asd-nsa.com>

お待たせいたしました。本年最初のパンタナール一日特別研修会(ワンデイセミナー)を開催いたします。

日時 二〇一六年四月二日(土)十時より受付、十時三十分開始、午後五時終了。

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際棟二階セミナールーム(東京都渋谷区代々木神園町三二一)小田急線参宮橋駅から徒歩七分

参加費 二〇〇〇円(昼食を含む)

参加を希望される方は、三月二九日までに、別紙の応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスかメールで下記の当法人事務局でお送りください。

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
共催 NPO地球の緑を守る会
講師 高津啓洋 NPO代表

● プログラム レダ近隣地域での奉仕活動、レダ

での活動体験(開拓・植樹・栽培・牧畜・養殖・釣り・乗馬など)、首都アスンシオン、メノナイトの築いた都市ロマ・プラタ、先住民の村、イグアスの滝などの見学・観光など(予定)

参加費 十五万円(参加者の負担額)

● 応募締め切り 一次選抜四月三十日、二次選抜五月三十一日 応募は健康な方に限ります。

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
連絡先 office@asd-nsa.com (担当 島田賢二)

● レダの話はいつも希望的で心が温かくなります。他の幸福のために生きる精神を実践するレダだからこそ本当の感動を与えるのだと思います。(女性・55歳)

● 本年も国際協力青年奉仕隊を派遣します。あなたのが若い日に、地球の反対側に飛び、汗を流して異文化の人々と心を通わせる奉仕活動!

原初の姿の大自然に触れ、自分自身を脱皮して、未知の可能性に挑戦してみませんか!

期間 八月二十四日～九月十一日(予定)

● プログラム レダ近隣地域での奉仕活動、レダでの活動体験(開拓・植樹・栽培・牧畜・養殖・釣り・乗馬など)、首都アスンシオン、メノナイトの築いた都市ロマ・プラタ、先住民の村、イグアスの滝などの見学・観光など(予定)

会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ)南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

● 入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

第十六回青年奉仕隊員募集!!



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.com へお願いします。